

生活科学学習指導案

指導者 柳井 裕美

- 1 日 時 令和 6 年 11 月 16 日（土） 第 1 校時（9：00～9：50）
- 2 学年・組 小学校第 2 学年 2 組 計 32 名（男子 16 名，女子 16 名）
- 3 場 所 小学校体育館
- 4 単 元 名 いいね  しののめの町
- 5 単元について

本単元では、本校がある東雲の地域に出掛け、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について調べたり考えたりしていくことで、自分たちの生活は様々な場所や人と関わっていることが分かり、地域を大切にする気持ちや積極的に関わろうとする気持ちを育み、安心して楽しく生活ができるようにすることを目指している。児童にとって地域とは、家庭、学校の次に出会う環境である。本校がある東雲の地域と自分たちがどのように関わっているのかに気付くことで、東雲の地域がより身近なものになると考えられる。また、この活動を通して、自分が住んでいる地域にも目を向けて、自分たちが生活している地域も安全で安心して生活できる地域だと実感し、様々な人や場所と関わりながら楽しく生活していこうとする気持ちを育んでいく。

本学級の児童は、多くの児童がバスや電車で通学しているため、本校がある東雲の地域に住んでいる児童がほとんどいない。東雲の地域については、普段から通学路で決められている道しか通っていないため、詳しく知らないことが多い。一方で、多くの児童が、自分とは違う通学路や登下校中に見かけるお店や道路標識などに興味をもっている。また、昨年度「学校生活に関わる活動」を中心とした単元「がっこうたんけん 」の学習を行った際は、調べたい場所について意欲的に調べたり、調べて分かったことを様々な人に工夫して伝えたりすることができた。

指導にあたっては、東雲の地域のよさにたくさん気付くことができるように、単元名にある「いいね」の意味をクラスの中で統一しておく。児童の通学路を大まかに 4 つに分けて、全ての場所を実際に歩くことで、たくさんの「いいね」を見つけることができるようにする。4 つの通学路でより詳しく知りたかった通学路を 1 つに絞り、地域の人々と関わる活動を行うことで、「いいね」を追究することができるようにする。その際、1 チームを 2～7 人の程度で構成し、同じ場所を調べることで、児童同士の自然な関わりが生まれるようにし、多くの気付きを見つけたり工夫して伝えたりすることができるようにする。今回は第三次から、昨年度「学校生活に関わる活動」を中心とした単元「がっこうたんけん 」でも活用した「たんけんメモ」を使って活動する。探検した場所で見付けたことや気付いたこと、お店の人にインタビューして分かったことなどを、絵と言葉で簡単に表現していく。インタビューする内容には必ず「いいね」の意味に関係することを入れることで、様々な場所での「いいね」に気付くことができるようにする。「たんけんメモ」は、それぞれのチームで見つけたしののめの町の「いいね」を伝え合う場や第四次の「みんなでたのしくしののめの町ツアー（仮）」でも活用し、「たんけんメモ」にかいた絵を見せながら相手に分かりやすく伝えることができるようにする。また、それらの活動をする際は、体育館で行い、調べた通学路を体育館の半面を使って表現することで、インタビューをしたお店の位置感覚も味わいながら楽しんで活動できるようにする。単元のゴールとして、「みんなでたのしくしののめの町ツアー（仮）」を設定する。昨年度「みんなでたのしくしののめ小ツアー」に招待した保護者をもう一度招待することで、昨年度よりもさらに満足感や達成感を味わったり、様々な人々と関わることの楽しさに気付いたりすることができるようにする。東雲の地域がより身近に感じられるものとなり、自分が住んでいる地域にも目を向けることで、どちらも安全で安心して生活できる地域と

して、様々な人や場所と関わりながら楽しく生活していくことができるようにしたい。

6 単元の目標

- (1) 調べたい場所を見付け、その場所のよさや関わることの楽しさに気付くことができる。
- (2) 調べた場所を、絵や言葉で表したり、伝え方を工夫したりして、その場所のよさや働いている人々などについて、相手に伝えることができる。
- (3) 東雲の町が自分にとって安全で安心して生活できる地域だと実感し、様々な場所や人と関わって楽しく生活することができる。

7 指導計画（全 18 時間）

次	時	学習内容
1	1	しののめの町にあるものをつたえ合おう。
2	2	7 ばんバスのバスでいまであるいて行ってみよう。
	3	4 ばんバスのバスでいまであるいて行ってみよう。
	4	にほばしまであるいて行ってみよう。
	5	広しましのめだい二ゆうびんきょくまであるいて行ってみよう。
	6	見つけたしののめの町のいいね  をマップにまとめよう。
	7	くわしく知りたいものをつたえ合おう。
3	8～9	インタビューに行くけいかくを立てよう。
	10～11	インタビューに行き、しののめの町のいいね  をもっと見つけよう。
	12～13	それぞれのチームで見つけたしののめの町のいいね  をまとめよう。
	14	それぞれのチームで見つけたしののめの町のいいね  をつたえ合おう。 (本時 14/18)
4	15	「みんなでたのしくしののめの町ツアー（仮）」のけいかくを立てよう。
	16	「みんなでたのしくしののめの町ツアー（仮）」のじゅんぴをしよう。
	17	「みんなでたのしくしののめの町ツアー（仮）」をしよう。
	18	「みんなでたのしくしののめの町ツアー（仮）」をふりかえろう。

8 本時の目標

「たんけんメモ」を使ってチームで見つけたしののめの町の「いいね」を伝え合う活動を通して、「あんしんポイント」を繋げながら、しののめの町のよさに気付くことができる。【知識・技能】

9 「教科等本来の魅力に迫るための教師の資質能力」との関連

基準	具体的な児童の姿
A	「たんけんメモ」を使ってチームで見つけたしののめの町の「いいね」を伝え合うことで、「あんしんポイント」を繋げながら、しののめの町のよさに気付くことができる。

B	「たんけんメモ」を使ってチームで見つけたしののめの町の「いいね」を伝え合うことで、しののめの町のよさに気付くことができる。
手立て【関連する教師の資質能力】	
○ 調べた通学路を体育館の半面を使って表現することで、インタビューをしたお店の位置感覚を味わいながら楽しんで活動できるようにする。【授業構想力】 ○ 「あんしんポイント」は、必ず伝えるようにすることで、共通の視点をもって活動できるようにする。【授業実践力】 ○ 「みんなが知って驚いたことは何ですか。」「あんしんポイントは何ですか。」などの声かけをし、それぞれのチームのこだわりを引き出すことができるようにする。【授業実践力】	

10 学習の展開

学習活動と内容	指導上の留意点（◆評価）
1. 7番バスのバス停までのルートを歩いた学習を振り返る。 ・道には、たくさんのひょうしきがありました。 ・しののめりっきょうから、いろいろなお店が見えました。 ・気になっていたばしょにインタビューに行けたので、うれしかったです。たくさんのことが分かりました。 ・学校からあるいて10分くらいでつきました。	○ 体育館の半面を使って表現した7番バスのバス停までのルートを見ながら、実際に歩いた経験を思い出すことで、今回の学習もわくわく感をもって取り組むことができるようにする。 ○ インタビューをした場所の位置も確認することで、それぞれのお店の場所を知り、体育館内の歩き方について考えることができるようにする。
チームで見つけたしののめの町の「いいね」をつたえ合い、 しののめの町についてくわしくなろう。	
2. 約束を確認して準備をする。 ・絵がかかっている方をおもてにするよ。 ・同じものをかいた絵はかさねておこう。 ・これはかならずつたえるようにしようね。 ・「あんしんポイント」は、これだよね。 ・赤白ぼう子の色は合ってるかな。 ・たくさんの人につたえたいな。 ・いろいろなお店に行って、しののめの町についてくわしくなるぞ。	○ それぞれのチーム内で2つのグループに分かれる。その際、赤白帽子を使って、伝える人は赤、聞く人は白にすることで、児童同士が声をかけ合いやすいようにする。 ○ 「たんけんメモ」は絵が描かれている方を表にして活動することで、より分かりやすく相手に伝えることができるようにする。 ○ 「あんしんポイント」は、必ず伝えるようにすることで、共通の視点をもって活動できるようにする。
3. チームで見つけたしののめの町の「いいね」を伝え合う。 <丸亀製麺> ・たくさんの人に来てもらえるように、ちゅう車じょうは広いです。36台とめることができます。 <東雲スイミングクラブ>	○ 事前に交代する時刻を伝えておくことで、見通しをもって取り組むことができるようにする。 ○ より多くのお店に行くことができるように、活動時間を十分に確保する。 ○ 各チームのこだわりを引き出すことがで

- ・しのめ小学校のじどうは、1年生から4年生が多く通っています。働いている人は、51人です。水泳を指導している先生は、23人います。

4. しなのめの町の「いいね👍」を伝え合った感想を発表する。

- ・丸がめせいめんのうどんのめんは、ゆでる前はつなひきができるくらいのびることを知ってびっくりしました。ゆでた後のめんは、もちもちしていておいしいそうです。今ど家ぞくで行ってみたいなと思いました。
- ・しのめスイミングに通っているけれど、水泳を指導されている先生が23人もいらっしゃることは知りませんでした。ぼくは、いつも木曜日に行っています。先生がたくさんいらしゃると、たくさんの人が通えるから、「あんしんポイント」だなと思いました。
- ・「あんしんポイント」をたくさん知ることができました。車で行けるように、ちゅう車じょうがあることは、どのぼしよもいっしょだと思いました。
- ・いろいろなぼしよの「あんしんポイント」を知ることができてうれしかったです。これからもちいきの人たちに、気もちのいいあいさつをしていきたいです。

5. 次回の活動を考え、見通しをもつ。

- ・もっとたくさんの人に伝えたいな。
- ・1年生でした「がっこうたんけん 🙌🙌🙌」のよう(タン・タン・タン)にツアーをひらきたいな。

きるように、「みんなが知って驚いたことは何ですか。」「あんしんポイントは何ですか。」などの声かけをする。

- 授業の始めの場所に集まり、児童が互いの顔を見ながら話をしたり聞いたりできるようにする。
- 「あんしんポイント」がよく分かるように板書をしていく。
- 聞いたことだけでなく、聞いてどのような気持ちになったのかも聞くことで、「あんしんポイント」を広げていくことができるようにする。
- しなのめの町には、見るだけでなく、それぞれの場所にインタビューに行くことで、より詳しく「あんしんポイント」があることを知り、安全で安心して過ごすことができる町であることを実感できるようにする。
- ◆ 「あんしんポイント」を繋げながらしのめの町のよさに気付くことができている。

【知識・技能】

- 本時の学習を振り返ることで、新たな思いや願いを引き出すことができるようにする。